

別記様式（第5条関係）

No.	4250761	事務事業評価票		所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登				
				所管課・係名	鏡農林水産事務所 農地係				
				課長名	畑中 房一				
評価対象年度	平成25年度		(Plan) 事務事業の計画						
事務事業名	農村公園管理事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	36
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興						
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備						
事務事業の目的	農業者等農村在住者の健康増進並びに憩いの場を提供し、地域住民の連帯感の醸成及び豊かな人間性を培うとともに、青少年及び児童の健全な育成に寄与するため。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	地域住民が安全で安心して公園利用できるために、自治会に農村公園の管理委託を行う。管理委託期間は1年契約であり、作業実績報告委託料支払いと同時に上半期(9月)、下半期(3月)の2回提出する。 ・津口農村公園管理:津口区自治会へ委託。 ・碓原農村公園管理:碓原区自治会へ委託。 ・芝口農村公園管理:芝口区自治会へ委託。 ・北新地海浜公園管理:中区自治会へ委託。								
根拠法令、要綱等	・八代市農村公園条例 条例第138号 ・八代市農村公園条例施行規則 規則第75号 ・農村公園管理委託作業要項								
実施手法 (該当欄を選択)	全部直営	一部委託	● 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を選択)	1 義務である ● 2 義務ではない			
事業期間	開始年度	平成17年度(合併後)		終了年度	未定				

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容	
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
農村地域に居住する住民 自治会による農村公園管理委託	●公園内の植木剪定、施肥、草刈り及び除草 ●公園内清掃、トイレ清掃 ●公園内遊具施設や管理施設の破損箇所を報告、軽微な修繕や整地等の定期的作業
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	農村公園管理委託料 ・津口農村公園管理:津口区自治会へ委託。 9月79,000円 3月30,000円 計109,000円 ・碓原農村公園管理:碓原区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円 ・芝口農村公園管理:芝口区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円 ・北新地海浜公園管理:中区自治会へ委託。 9月30,000円 3月30,000円 計60,000円
事業開始時点からこれまでの状況変化等	
公園整備後、約26年の経過により遊具施設の老朽化が目立っているため、予算を確保できるか課題である。	

コスト推移		24年度決算	25年度決算	26年度予算	27年度見込	28年度見込	29年度見込
総事業費	(単位:円)	—	446,700	745,000	140,000	140,000	140,000
事業費(直接経費)	(単位:円)	605,855	306,700	605,000	0	0	0
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他特定財源 (特別会計→繰入金)	0	0	0	0	0	0
	一般財源 (特別会計→事業収入)	605,855	306,700	605,000	0	0	0
人件費		24年度	25年度	26年度見込	27年度見込	28年度見込	29年度見込
概算人件費(正規職員)	(単位:円)	—	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
正規職員従事者数	(単位:人)	—	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
臨時職員等従事者数	(単位:人)	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	4地区農村公園内清掃、トイレ清掃、草刈り及び除草、公園巡回等 (年間合計実績報告書より)	回	計画	—	250	250	250	250
				実績	340	276	—	—	—
	②		回	計画	—				
実績						—	—	—	
③			計画	—					
			実績			—	—	—	
〈記述欄〉※数値化できない場合									

別記様式（第5条関係）

指標名		指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	①	安全で安心して利用しやすい公園づくりと管理	健康増進や憩いの場として適した公園づくりのため清掃等管理を行う	%	計画	-	100	100	100	100	100
					実績	100	100	-	-	-	-
	②	施設維持管理上の要望件数	地域からの要望が無くなれば、100%の満足度と捉えられる	件	計画	-	2	2	2	2	2
					実績	0	2	-	-	-	-
	③					計画	-				
						実績			-	-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合											

(Check) 事務事業の自己評価				
着眼点		チェック	判断理由	
事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	結びつく ● 一部結びつく 結びつかない	・管理については自治会に委託をしている。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	● 薄れていない 少し薄れている 薄れている	・集落の憩いの場となっており、管理については、徹底している。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか（国・県・民間と競合していませんか）	● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない	委託料内から支出する年間街灯電気料・水道・汲み取り料を計算しても委託料として地区に支払った方が安いし、現在でも増額の要望が無い場合、現状維持が妥当と思われる。
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	● 順調である あまり順調ではない 順調ではない	地域に根づいた公園であり、なくてはならない公園となっており、農家、非農家を問わず使用状況も順調に推移している。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか（成果をこれ以上伸ばすことはできませんか）	● 見直しの余地はない 検討の余地あり 見直すべき	千丁地区内公園の維持管理費を比べても安価であるとおもわれ、予算を調整すると高額になる可能性がある。
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	できない ● 検討の余地あり 可能である	高額となる。 現在は安価な委託料で自治会員や住民で清掃や草刈り等の維持管理が行われている。民間委託を導入すれば現在以上に人件費によるコスト負担が考えられるが、施設の老朽化による修繕料は負担増が見込まれる
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	できない ● 検討の余地あり 可能である	・現在は安価な委託料で自治会員や住民で清掃や草刈り等の維持管理が行われている。民間委託を導入すれば現在以上に人件費によるコスト負担が考えられるが、施設の老朽化による修繕料は負担増が見込まれる。
	③	【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか	● できない 検討の余地あり 可能である	面積当たり単価を算出しても委託料で支出した方が安価であり、地元との連携がうまくいかない。
	④	【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）	見直しの余地はない ● 検討の余地あり 見直しが必要である	過去に見直しを行ったが、八代市内の都市公園・農村公園の管理方法がそれぞれに違っているため、調整ができない。

(Action) 事務事業の方向性と改革改善				
今後の方向性 <small>(該当欄を選択)</small>	1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 現行どおりの予算内容で、施設修繕を行い委託については自治会にお願いをする。民間委託するよりもコストが安価であると考えられ、住民で公園を管理することで愛着が生まれ、良好な公園づくりが行われやすい。		
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 委託先の自治会は高齢者が多い。そのため、自治会自らの主体的な取り組みによって後継者を養成していくことが課題となる。市は現在行どおりの委託を受けてもらえるように自治会役員にお願いをしていくことで、良好な公園づくりがもたらされていくことになる。			
改革改善による期待成果				
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	
	低下			
		外部評価の実施	無	
		実施年度		
改善進捗状況等	H25進捗状況			
	H25取組内容			
決算審査特別委員会における意見等	特になし (委員からの意見等)			

別記様式（第5条関係）

No.	4250758	事務事業評価票		所管部長等名	農林水産部長 橋口 尚登				
評価対象年度				平成25年度		所管課・係名	鏡農林水産事務所 農林水産係		
						課長名	畑中 房一		
(Plan) 事務事業の計画									
事務事業名	鏡さわやか農園管理運営事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	05	—	01	—	11
				事業コード(大-中-小)	04	—	11	—	35
施策の体系 (八代市総合計画における位置づけ)	基本目標(章)	4	豊かさにとぎわいのあるまち						
	施策の大綱(節)【政策】	1	豊かな農林水産業のまちづくり						
	施策の展開(項)【施策】	1	経営安定を目指した農業の振興						
	具体的な施策と内容	4	農村環境の整備						
事務事業の目的	農地を貸付し、農作物の栽培を体験することにより、自然や農業に対する理解が深まる。								
事務事業の概要 (全体事業の内容)	八代市が貸主となって、自然に触れ合いたいという自然志向、野菜や花などを栽培してみたいという農作業体験志向の市民(農業者以外)を対象として、一区画33㎡(全58区画)を貸付ける。								
根拠法令、要綱等	特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律。八代市鏡さわやか農園条例。								
実施手法 (該当欄を選択)	● 全部直営		一部委託		全部委託		法令による実施義務 (該当欄を選択)		
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定				
その他()						1 義務である ● 2 義務ではない			

(Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業の内容	
対象 (誰・何を)	内容 (手段、方法等)
自然志向、農作業体験志向の市民(農業者以外)	八代市広報誌、ホームページ等にて利用者を募り貸し出す。契約者については、年度末に新年度継続するか確認する。
成果目標 (どのような効果をもたらしたいのか)	区 画: 1区画33㎡ 区画数 : 58区画 貸付料金: 1区画5,000円/年 年度途中の場合は420円/月 受付期間: 3月1日から3月14日 区画に残余が生じているときは、随時受付 貸付区画: 原則として1区画 区画に残余が生じたときは、希望者は複数可能
農作物の栽培をしていない方が農業体験をする事により、自然や農業に対する理解を深める。	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	
平成8年の開園以来、旧鏡町では空き区画が多くあり維持管理に時間と費用を必要としていたが、合併後は広報誌やホームページにて募集を行った結果、空き区画も少なく維持管理の省力化が図られている。また、旧鏡町時代から耕運機を含め、鍬や一輪車などの農具類があり、水道、トイレも完備している。さらに、平成20年に耕運機を入れ替えている。	

コスト推移				24年度決算	25年度決算	26年度予算	27年度見込	28年度見込	29年度見込	
総事業費	(単位:円)			-	629,359	774,000	350,000	350,000	350,000	
	事業費(直接経費)			279,778	279,359	424,000	0	0	0	
	財源内訳	国県支支出金			0	0	0	0	0	0
		地方債			0	0	0	0	0	0
		その他特定財源 (特別会計→繰入金)			269,240	260,000	270,000	0	0	0
		一般財源 (特別会計→事業収入)			10,538	19,359	154,000	0	0	0
	人件費			24年度	25年度	26年度見込	27年度見込	28年度見込	29年度見込	
概算人件費(正規職員) (単位:円)			-	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000		
正規職員従事者数 (単位:人)			-	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
臨時職員等従事者数 (単位:人)			-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	区画の利用率	%	計画	-	100	100	100	100	
				実績	95	93.1	-	-	-	
	②	維持管理の時間	時間	計画	-	330	300	290	290	
				実績	330	300	-	-	-	
	③	広報誌やホームページによる募集・周知	回	計画	-	2	2	2	2	
実績				1	1	-	-	-		
〈記述欄〉※数値化できない場合										

別記様式（第5条関係）

指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	① 区画の利用率	募集や周知方法を工夫、改善により利用者が増えれば、収入が増えるだけでなく、市民農園に対する理解が増える。	%	計画	-	100	100	100	100	100
				実績	95	93	-	-	-	-
	② 維持管理の時間	維持管理に費やす時間が少なくなれば、他の事務に従事することができる。	時間	計画	-	330	300	290	290	290
				実績	330	300	-	-	-	-
	③			計画	-					
				実績			-	-	-	-
〈記述欄〉※数値化できない場合										

(Check) 事務事業の自己評価			
着眼点		チェック	判断理由
事業実施の 妥当性	① 【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結びつきますか	● 結びつく 一部結びつく 結びつかない	安心安全を求める昨今のニーズに応えるため、農作物の栽培を体験することにより、自然や農業に対する理解を深めることができる。
	② 【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていませんか	● 薄れていない 少し薄れている 薄れている	契約者の多くは、会社の退職後に家庭菜園として何か作物を栽培したいと思いついて契約している方が多い。現在では、趣味や生きがいとして、農機具等があることもあり、楽しみで利用されているかばかりである。
	③ 【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当ですか(国・県・民間と競合していませんか)	● 妥当である あまり妥当でない 妥当でない	現在、八代市や近隣における市民農園は数ヶ所あるが、すべて行政が事業主体である。 法律上は、第三者(民間等)が事業主体になることは可能であるが、普及していないため、行政が取り組むべき事業である。
活動内容の 有効性	① 【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移していますか	● 順調である あまり順調ではない 順調ではない	現在は、以前に比べて高い利用率を維持しており、収入増加、維持管理費の抑制に繋がっている。
	② 【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地はありますか(成果をこれ以上伸ばすことはできませんか)	● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり 見直すべき	耕運機の年数経過と最近の原油高騰により、耕運機に係る維持管理費が増加傾向にあり、収入よりも支出が多い状況になってきている。貸付料が適切かどうかを検討する必要がある。
実施方法の 効率性	① 【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能ですか	● できない 検討の余地あり 可能である	外部への委託の検討は法律上可能であるが、現在の事業主体が行政であるために、安価な貸付料にて運営している。外部委託した場合は、現在の貸付料での運営は出来ない。
	② 【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能ですか	● できない 検討の余地あり 可能である	八代市近隣にある市民農園は、すべて行政が事業主体であるため出来ない。 また、それぞれの農園で形態が違うためできない。
	③ 【人件費の見直し】 現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能ですか	● できない ● 検討の余地あり 可能である	年間を通じての仕事量については、通年における内容は無く、時期的なものが多いため、その時期のみ臨時職員を雇用することは、出来なくはない。
	④ 【受益者負担の適正化】 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要はありますか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 見直しの余地はない ● 検討の余地あり 見直しが必要である	耕運機の年数経過と最近の原油高騰により、耕運機に係る維持管理費が増加傾向にあり、収入よりも支出が多い状況になってきている。貸付料が適切かどうかを検討する必要がある。

(Action) 事務事業の方向性と改革改善				
今後の方向性 <small>(該当欄を選択)</small>	1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 耕運機・鍬などの道具・堆肥置場・トイレ・休憩所の設備がある中で、安価な料金で農作物の栽培が出来るとして利用者の声は大変好評である。会社を退職し趣味で家庭菜園をしたいとして利用している方が多く、農園での人や植物との触れ合いを楽しみにしている方もいる。また、近くにこのような農園が無いことも利用率の高さとして考えられる。今後、さらに利用者が利用しやすいように見直す必要がある項目もある。もし、外部委託した場合は貸付料の見直しが必要となれば、申込者・収入共に減少する可能性も出てくるものと思われる。		
今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果				
改革改善内容	今後の市民ニーズを見極めつつ、広報誌やホームページを活用し、多くの方が利用できるように対応する。 収入と支出については支出の方が多い状況であり、利用率の向上に努め、収入増加を目指す。 耕運機に対する費用の受益者負担については、利用者の負担方法や公平性のことを考え、精査する必要があるので、検討していきたい。			
改革改善による期待成果				
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	
	維持			
	低下			
		外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度
			平成25年度	
改善進捗状況等	H25進捗状況	2. 一部対応		
	H25取組内容	申込の受付期間が4月のみだったことから、3月に申込を行い、残余が生じた場合は随時受付をするように変更した。		
決算審査特別委員会における意見等	特になし (委員からの意見等)			